

<白金標準、4250 円を超える値動きに備える・・・>



(出所：オアシス)

6月に中国人民銀行がローンプライムレートの引き下げを実施したが、市場は期待外れの引き下げ幅を受け人民元が下落を続け、中国人民銀行は貨幣政策委員会の四半期会合に関する声明を発し人民元安に「包括的な措置を導入し、期待を安定させる」と声明を発表している。しかし中国政府が米国の半導体輸出規制に対抗し、半導体製造や太陽発電に使用される2種類の金属の輸出規制を発表するなど、米中輸出規制の波紋が景気低迷に喘ぐ中国経済に悪影響を及ぼすとの見方が強く、中国市場の香港株や上海総合が連日下落し、白金標準先物は一時4090円まで下値を試している。ただNY白金は900ドルで下げ渋る動きを見せるなど、鉱山コストや需給バランスを考慮した下値に届いた動きを見せており、週末の雇用統計の発表を受けて一時924.6ドルまで戻りを見せている。

そのため白金標準先物でも4100円を割り込む動きは一時的であり、行き過ぎた値動きや反動高に注意した方が妥当に思える。特にADP雇用統計のサプライズや週末の雇用統計を受けてリセッションの確率が低下するなど景気商品にはプラス要因と思え、強気を維持するのが妥当に思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDがシグナルを44日ぶりに上回り、RCIでも短期が上昇するなど、オシレーターは基調の変化を示している。また日足が10日移動平均線を試すなど切り返す動きに思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 3,250,000 円(2023 年 7 月 10 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 87,120 円(2023 年 7 月 10 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>